

探検隊バージョン 10.1

探検隊データベース インストールマニュアル

第8版

『探検隊バージョン 10.1 のデータベース』と『探検隊バージョン 10.1（データベース管理版）』インストールに関するマニュアルです。パソコンの操作に慣れている方でも、必ずご一読ください。

目次

はじめに.....	1
『探検隊のデータベース』とは.....	1
『探検隊データベース管理版』とは.....	1
インストールを行う前に.....	2
システム要件.....	3
事前に必要なソフトウェアのインストール手順.....	4
「.NET Framework 3.5 (.NET 2.0 および 3.0 を含む)」をインストールする	4
Windows Server 2012 / 2012 R2 / 2016 に「.NET Framework 3.5」をインストールする	6
Windows 8 / 8.1 / 10 に「.NET Framework 3.5」をインストールする	9
『探検隊のデータベース』のインストール手順	11
ファイアウォールの設定手順	15
ファイアウォールの例外設定	15
SQL Server サービス	15
SQL Server Browser サービス	15
Windows Server 2012 / 2012 R2 / 2016 での Windows ファイアウォール設定	16
Windows Server 以外のオペレーティングシステムについて	21
『探検隊のデータベース』のアンインストール手順	22
Microsoft SQL Server 2014 のアンインストールを行うまえに	22
Microsoft SQL Server 2014 のアンインストール	22
『探検隊のデータベース』の再インストール手順	23
『探検隊データベース管理版』のインストール手順	24
『探検隊バージョン 10.1 (データベース管理版)』をインストールする	24
『探検隊データベース管理版』のアンインストール手順	27
『探検隊データベース管理版』の再インストール手順	27
トラブルシューティング	28

はじめに

本資料は、学校図書館管理システム『探検隊バージョン 10.1』で使用する『データベース』（以下『探検隊のデータベース』といいます）と『探検隊バージョン 10.1（探検隊データベース管理版）』（以下『探検隊データベース管理版』といいます）をインストールするためのマニュアルになります。

このマニュアルには、『探検隊のデータベース』と『探検隊データベース管理版』をインストールするために必要なシステム要件、インストール手順が記載されています。また、アンインストール及び再インストールについての情報も合わせて記載しています。

『探検隊のデータベース』とは

『探検隊のデータベース』は、蔵書や利用者、統計などの情報を管理・保存しているものです。

『探検隊バージョン 10.1』では、Microsoft SQL Server をデータベースとして使用しています。

『探検隊データベース管理版』とは

『探検隊データベース管理版』は、『探検隊のデータベース』のバックアップの設定やバックアップデータのインポートなど、探検隊を運用する上で重要なデータベースを管理するためのアプリケーションです。

インストールを行う前に

『探検隊のデータベース』と『探検隊データベース管理版』のインストールを正しく完了するには、事前にいくつかの確認をする必要があります。

・システム要件をみたしているか？

『探検隊のデータベース』と『探検隊データベース管理版』をインストールするには、システムの要件を満たしている必要があります。本資料、システム要件の項目をご確認ください。

・Microsoft SQL Server がインストールされていない状態か？

『探検隊バージョン 10.1』では Microsoft SQL Server 2014 Express をデータベースに使用しています。

『探検隊のデータベース』のインストール時にデータベースの設定を行いますので、Microsoft SQL Server がインストールされていないことを確認してください。

尚、既に Microsoft SQL Server がインストールされており、データベースを『探検隊』以外のアプリケーションで使用している端末は『探検隊のデータベース』のシステム要件を満たしていません。無理なインストールをおこなった場合、システムの再セットアップが必要になるケースもあります。予めご確認ください。

・『探検隊のデータベース』をサーバーもしくはスタンドアロンのどちらで運用するか？

探検隊データベースサーバーは、データベースとして Microsoft SQL Server 2014 Express を利用します。

Server OS を利用せずに複数台の端末から、Microsoft SQL Server 2014 Express へ接続する行為は、Microsoft の OS ライセンス規約に違反します。複数台で探検隊を利用したい場合は、必ず Server OS をご利用ください。スタンドアロンで運用する場合は対応したオペレーションシステムでの運用で問題ありません。

・セキュリティソフトが、インストール・運用を阻害する設定になっていないか？

セキュリティソフトが導入されている場合、セキュリティソフトによりパソコンが保護されています。その結果、インストール作業が失敗する事や、正常にインストールされても、パソコンの再起動後に、インストール前の状態に戻ってしまう場合があります。そのような場合はインストールできるように、セキュリティソフトの設定を変更してください。

また、インストール後もセキュリティソフトが探検隊のデータを一定の時点の状態に戻してしまう場合があります。そのような場合もセキュリティソフトの設定を変更してください。

セキュリティソフトの設定により発生する問題は探検隊側で解決できません。セキュリティソフトの設定で対応をお願いします。セキュリティソフトの詳しい設定方法については、導入されているセキュリティソフトのマニュアルなどをご参照ください。

・インストール作業を行う為に、コンピュータの管理者権限のユーザーが利用できるか？

『探検隊のデータベース』と『探検隊データベース管理版』のインストールには、コンピュータの管理者権限が必要です。コンピュータの管理者権限については、お客様のコンピュータの管理担当者へお問い合わせください。

システム要件

『探検隊のデータベース』と『探検隊バージョン 10.1（データベース管理版）』*1 を使用するには、次の要件を満たしている必要があります。

コンポーネント	要件
プロセッサ（CPU）	使用するオペレーティングシステムの推奨以上（2GHz 以上）のもの *2
メモリー	2GB 以上（4GB 以上を推奨）
ハードディスク容量	空き容量 10GB 以上
DVD ドライブ	DVD-ROM が読み込み可能なドライブ
対応 OS	複数台で探検隊を利用する場合 Windows Server 2016 Windows Server 2012 R2 Windows Server 2012 1 台のみで探検隊を利用する場合（複数台で運用しない場合のみ） Windows 10 32bit 及び 64bit Windows 8.1 32bit 及び 64bit Windows 8.1 Pro 32bit 及び 64bit Windows 8 32bit 及び 64bit Windows 8 Pro 32bit 及び 64bit
必要ソフトウェア *3	.Net Framework 3.5（もしくは 3.0）
ネットワーク	LAN 環境で 100Mbps 以上 *4
その他	Microsoft SQL Server がインストールされたことがない端末 『探検隊』以外で Microsoft SQL Server を使用しない端末

*1 『探検隊データベース管理版』は、『探検隊のデータベース』が入っている端末にのみインストールできます。

*2 IA64 は動作保障していません。

*3 本資料の手順内でインストールする事ができます。

*4 『探検隊』を複数台数の端末で利用する場合に必要になります。

事前に必要なソフトウェアのインストール手順

初めに、「インストールを行う前に」の項目に問題がない事を確認してください。

『探検隊のデータベース』と『探検隊データベース管理版』をインストールするには、いくつかのソフトウェアが事前に設定されている必要があります。

まずは、必要なソフトウェアのインストールを行ってください。

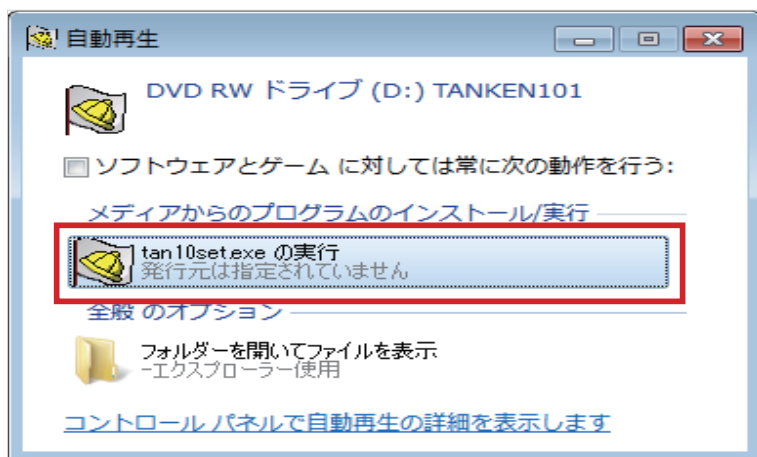
オペレーティングシステムによって、画面の見た目が異なる場合がありますが、インストール手順の流れは、共通です。

「.NET Framework 3.5 (.NET 2.0 および 3.0 を含む)」をインストールする

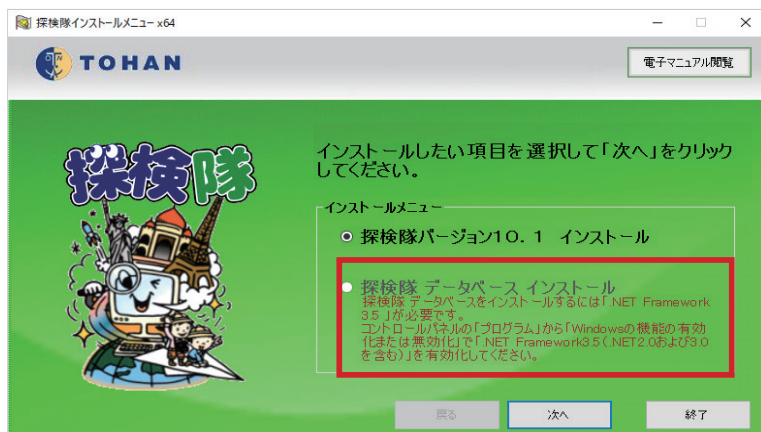
オペレーティングシステムが、**Windows Server 2012 / 2012 R2 / 2016、Windows 8 / 8.1 / 10** のいずれかである場合、「.NET Framework 3.5 (.NET 2.0 および 3.0 を含む)」がインストールされていない場合は、事前にインストールする必要があります。インストールメニューを起動して、設定の必要があるかを確認します。

- 1.『探検隊データベース』のインストールを始めるために、コンピュータの管理者権限でログオンします。
- 2.『探検隊バージョン 10.1』インストールメディア・イメージファイルを、ドライブにセットしてください。
- 3.自動再生メニューが表示されます。「tan10set.exe の実行」をクリックしてください。

自動再生されない場合は、「コンピューター（マイコンピュータ）」から、ドライブをダブルクリックするか、直接ドライブを開いて、「tan10set.exe」をダブルクリックしてください。



4. インストールメニューに「**探検隊データベースをインストールするには「.NET Framework 3.5 (.NET2.0 および 3.0 を含む)」が必要です。**」と赤字で表示された場合は、設定作業が必要になります。



* メッセージが表示されず「探検隊データベースインストール」が選択できる場合は、この作業は不要です。次の作業に進んでください。

5. 設定作業を行う為に、探検隊インストールメニューは、「終了」をクリックして、画面を閉じます。

「.NET Framework 3.5 (.NET 2.0 および 3.0 を含む)」のインストール手順は、オペレーティングシステムごとに異なります。オペレーティングシステムにあった手順を参考に作業を行ってください。

- Windows Server 2012 / 2012 R2 / 2016 の場合 6 ページ
- Windows 8 / 8.1 / 10 の場合 9 ページ

Windows Server 2012 / 2012 R2 / 2016 に「.NET Framework 3.5」をインストールする

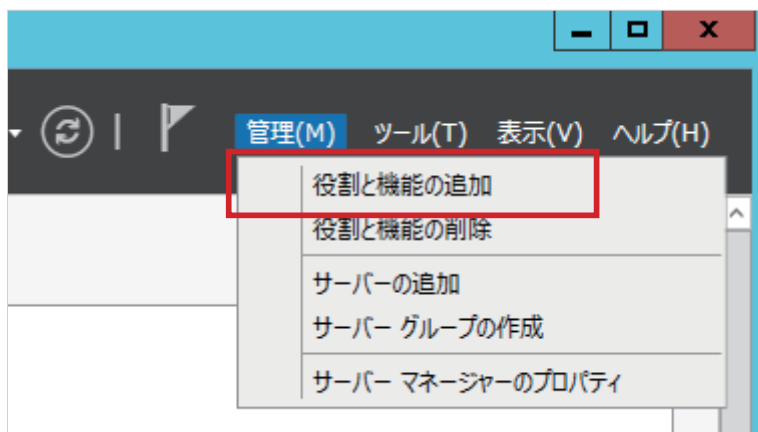
Windows Server 2012 / 2012 R2 / 2016 の場合、「.NET Framework 3.5」は、オペレーティングシステムの機能の一つになっています。機能を有効にする形で、インストールを行います。

1. 「スタートメニュー＞すべてのアプリ＞サーバーマネージャー」を起動します。

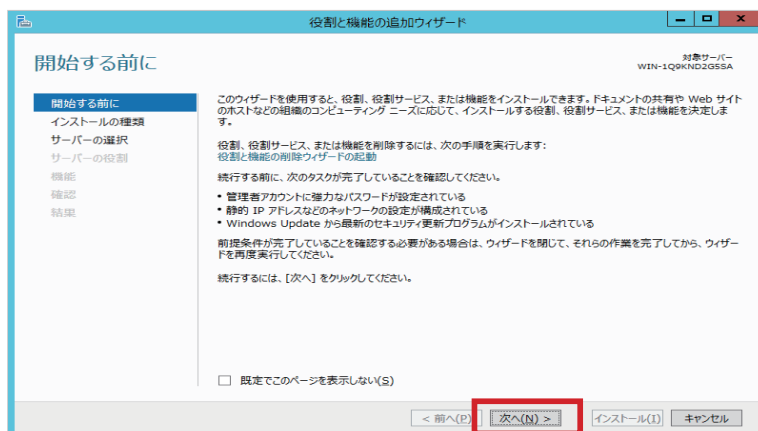
***Windows Server 2016 は、「スタートメニュー＞コントロールパネル」で起動します。**



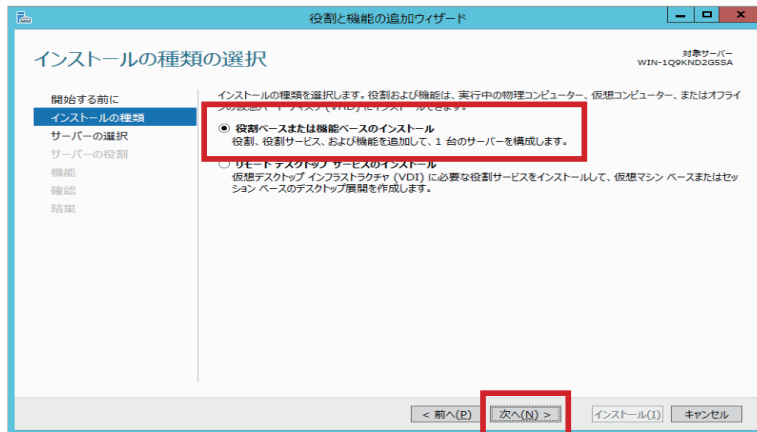
2. 右上のメニューから「管理＞役割と機能の追加」を選択します。



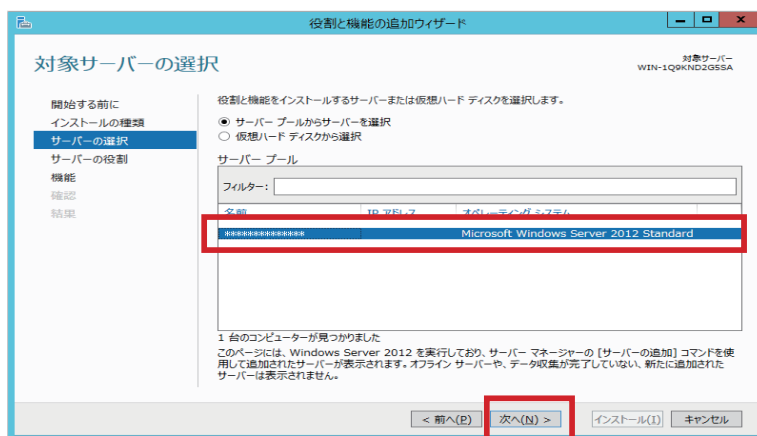
3. 役割と機能の追加ウィザード画面が表示されるので、「次へ」をクリックします。



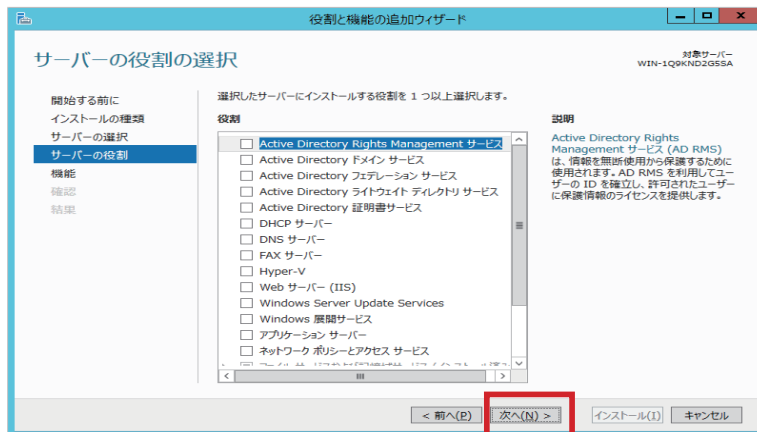
4. インストールの種類は「役割ベースまたは機能ベースのインストール」を選択して、「次へ」をクリックします。



5. サーバーの選択で「サーバープールからサーバーを選択」を選択して、サーバープールに表示されている内容から、設定を行いたい端末（基本的に操作中の端末のコンピュータ名）を選択し、「次へ」をクリックします。

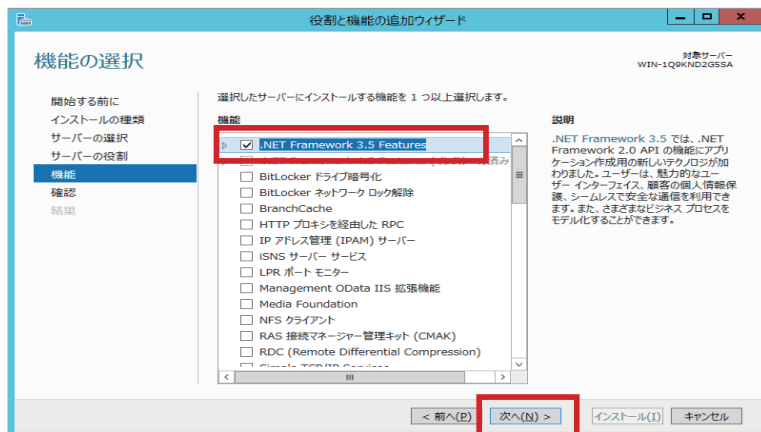


6. サーバーの役割は、何も変更せずにそのまま「次へ」をクリックします。



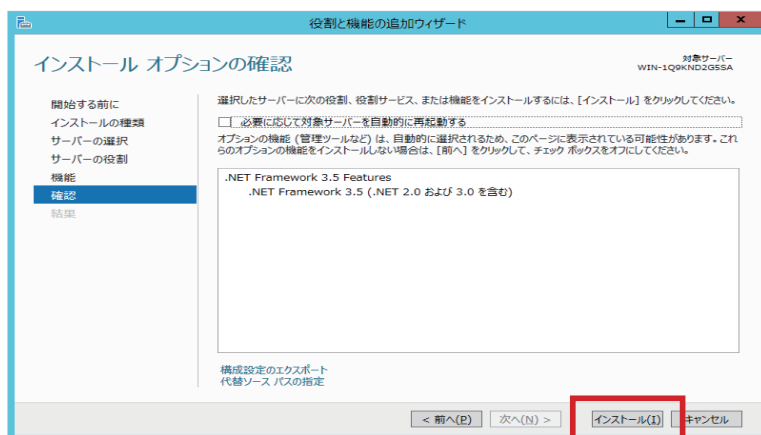
*** 役割にチェックがついている場合も何もせずにそのままにしてください。**

7. 機能で「.NET Framework 3.5 Features」にチェックをつけて、「次へ」をクリックします。



* 他の機能についているチェックはそのままにしてください。

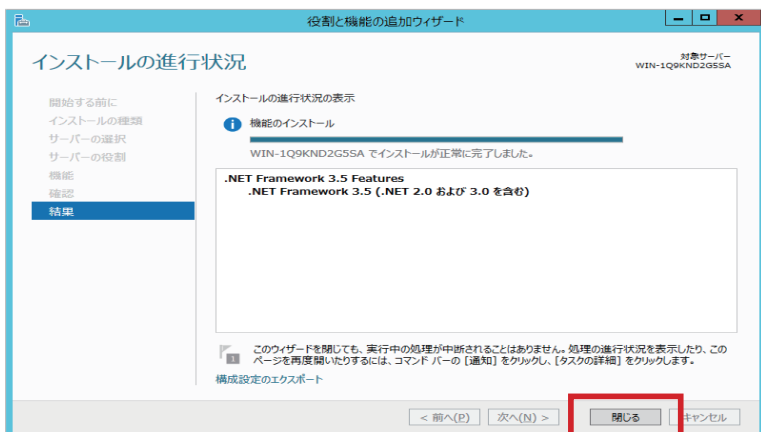
8. 確認で「.NET Framework 3.5 Features」の内容が表示されていることを確認して「インストール」をクリックします。



9. インストールが開始されるので、終了するまで待ちます。

* 「.NET Framework 3.5 Features」は、オペレーティングシステムの機能の一部の為、インストールに失敗するなどの場合は、お客様のシステム担当者へお問い合わせいただき、環境の見直しを行ってください。

10. インストールが正常に完了しました。と表示されたらインストールは完了です。「閉じる」をクリックします。



* コンピュータの再起動の指示が表示された場合は、必ず端末の再起動を行ってください。

Windows 8 / 8.1 / 10 に「.NET Framework 3.5」をインストールする

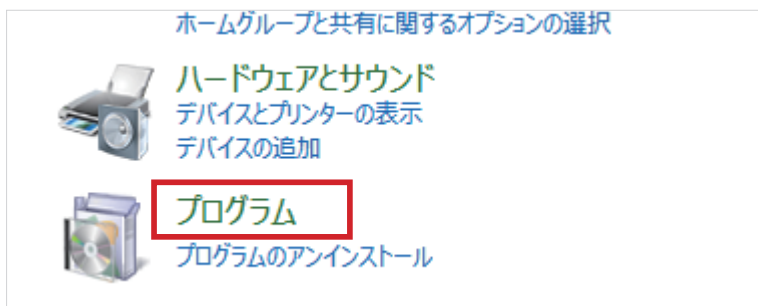
Windows 8 / 8.1 / 10 の場合、「.NET Framework 3.5」は、オペレーティングシステムの機能の一つになっています。機能を有効にする形で、インストールを行います。

1. 「スタートメニュー>すべてのアプリ>コントロールパネル」を起動します。

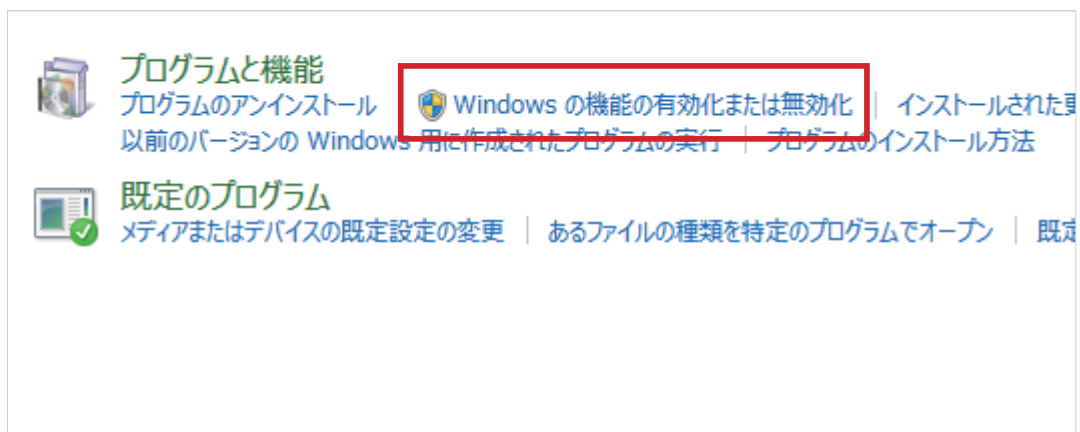
***Windows10 は、「スタートメニュー上で右クリック>コントロールパネル」で起動します。**



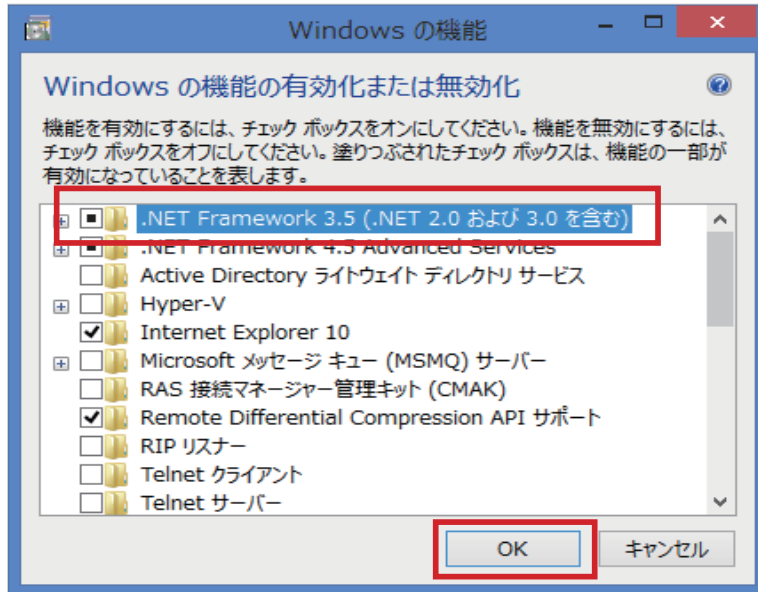
2. 「プログラム」をクリックします。



3. 「Windows の機能の有効化または無効化」をクリックします。



4.Windows の機能画面で「.NET Framework 3.5 (.NET 2.0 および 3.0 を含む)」にチェックをつけて「OK」をクリックします。

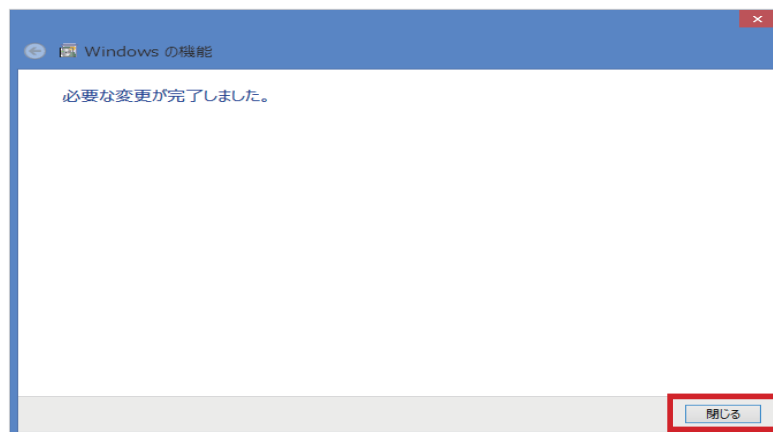


* 他の機能についているチェックはそのままにしてください。

5. インストールが開始されるので終了するまで待ちます。

*「.NET Framework 3.5(.NET 2.0 および 3.0 を含む)」は、オペレーティングシステムの機能の一部の為、インストールに失敗するなどの場合は、お客様のシステム担当者様へお問い合わせいただき、環境の見直しを行ってください。

6. 「必要な変更が完了しました。」と表示されたらインストールは完了です。「閉じる」をクリックします。



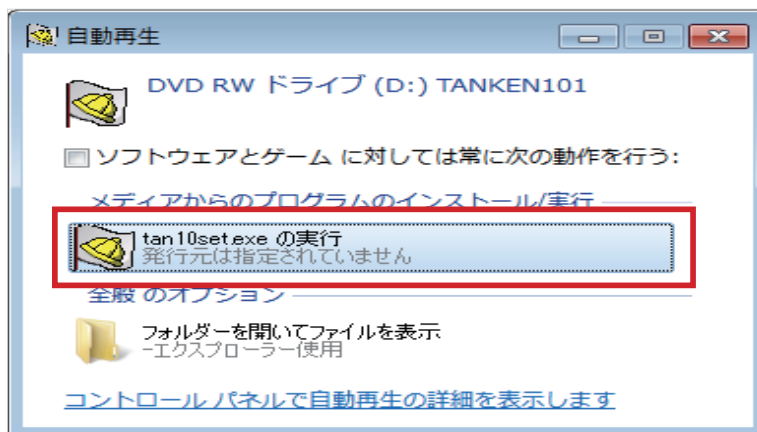
* コンピュータの再起動の指示が表示された場合は、必ず端末の再起動を行ってください。

『探検隊のデータベース』のインストール手順

前項の「事前に必要なソフトウェアのインストール手順」の作業が完了したら、『探検隊のデータベース』をインストールします。

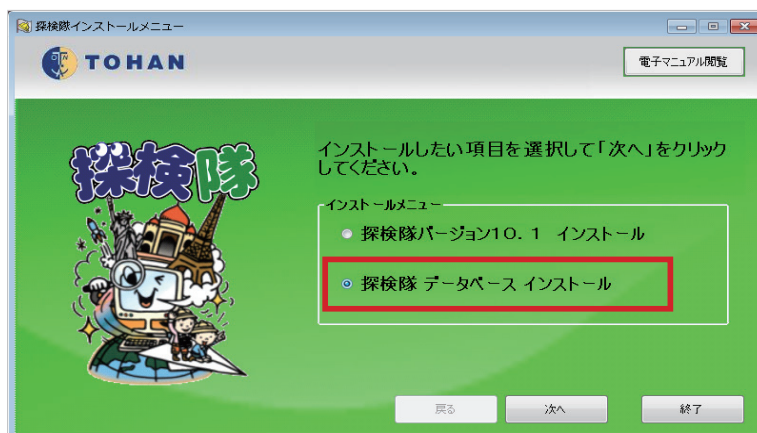
オペレーティングシステムによって、画面の見た目が異なる場合がありますが、インストール手順の流れは、共通です。

- 1 『探検隊のデータベース』のインストールを始めるために、コンピュータの管理者権限でログオンします。
- 2 『探検隊バージョン 10.1』インストールメディア・イメージファイルを、ドライブにセットしてください。
3. 自動再生メニューが表示されます。「tan10set.exe の実行」をクリックしてください。



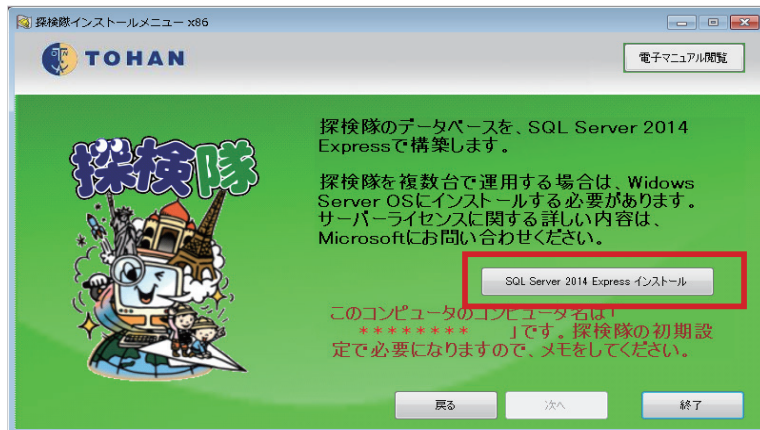
自動再生されない場合は、「コンピューター（マイコンピュータ）」から、ドライブをダブルクリックするか、直接ドライブを開いて、「tan10set.exe」をダブルクリックしてください。

4. インストールメニューから、「探検隊データベース インストール」を選択し、「次へ」をクリックします。

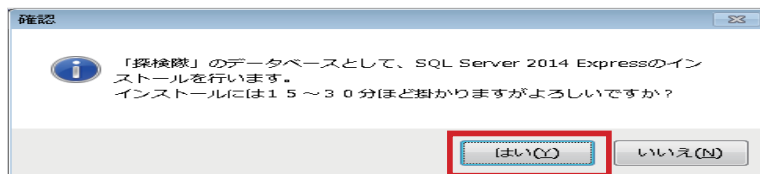


* 赤字が表示されて「探検隊データベース インストール」が選択できない場合は、本資料内「トラブルシューティング」をご確認ください。

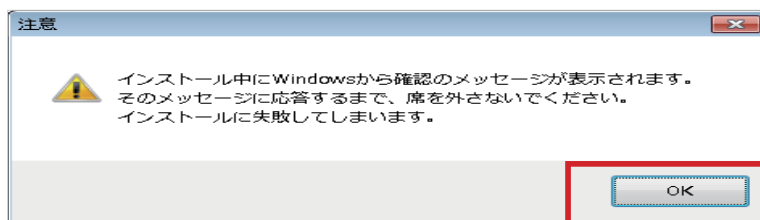
5. 「SQL Server 2014 Express インストール」をクリックします。



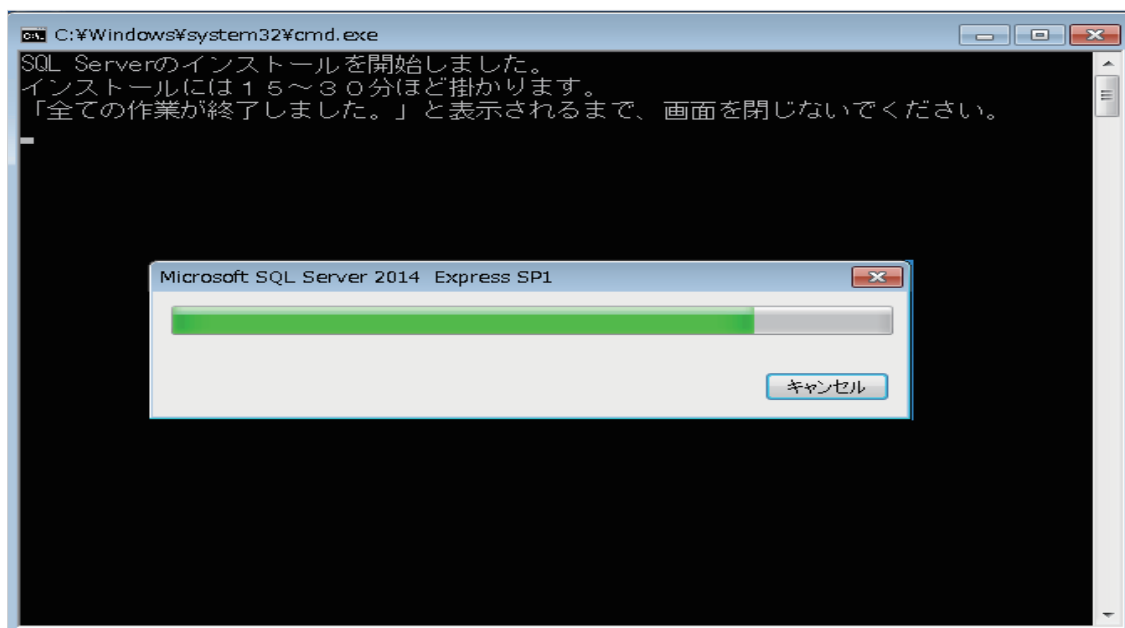
6. インストールの確認メッセージが表示されます。内容を確認し「はい」をクリックします。



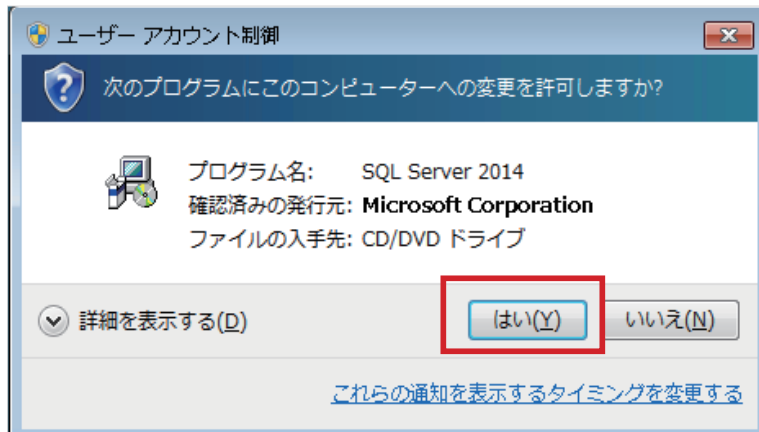
7. ユーザーアカウント制御画面に関する確認メッセージが表示されます。内容を確認し「OK」をクリックします。



8. コマンドプロンプト（黒い画面）が表示され「SQL Server のインストールを開始しました。インストールには 15 ～ 30 分ほど掛かります。「全ての作業が終了しました。」と表示されるまで、画面を閉じないでください。」とメッセージが表示され、インストールが開始されます。

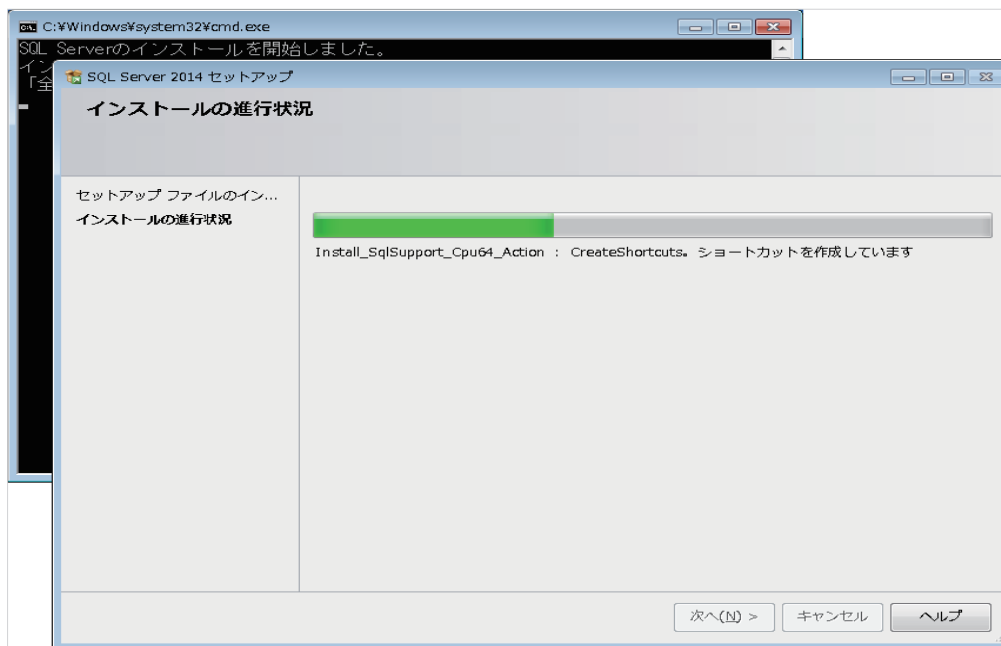


9. ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、「許可」または「はい」をクリックします。



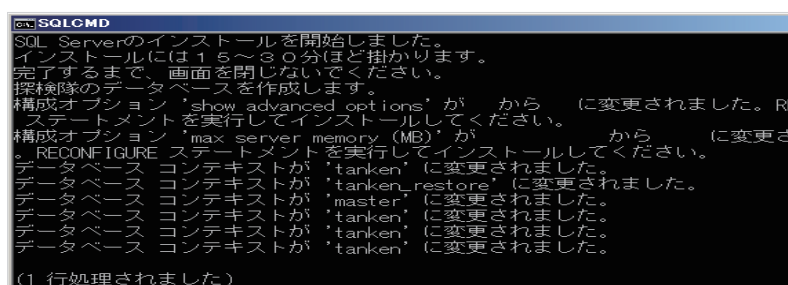
*** ユーザーアカウント制御画面に返答しないまま放置すると、インストール作業は強制的にキャンセルされ失敗します。必ずインストール作業が進んでいる様子を確認してください。**

10. コマンドプロンプト（黒い画面）が表示している間は、「別の黒い画面」や「SQL Server 2014 セットアップ」画面が表示されたりしますが、インストールは全て自動で行われます。全ての作業が完了するまでお待ちください。

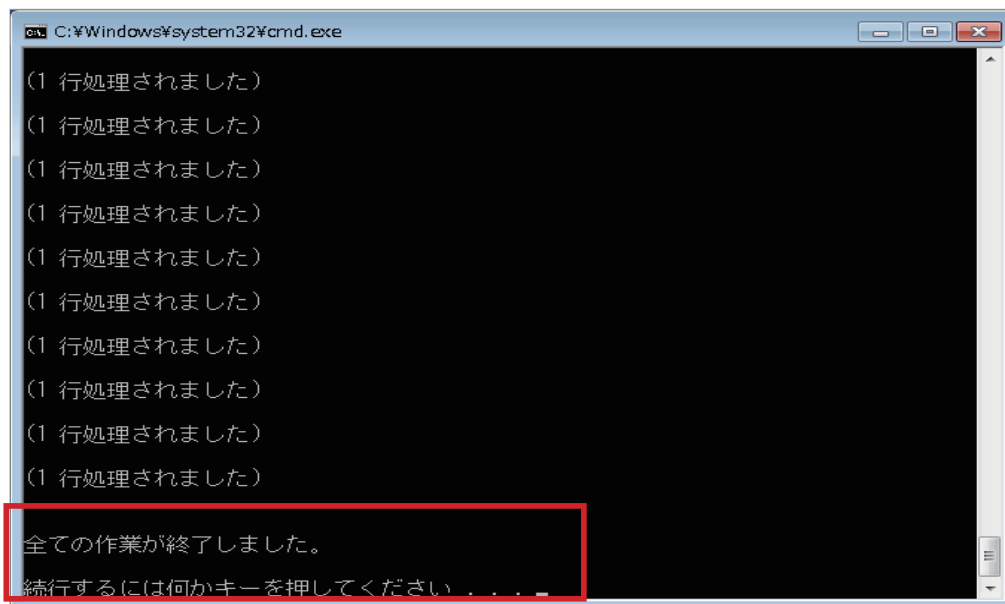


*** インストール中は、画面が表示されたり、消えたりする動作が複数回繰り返されますが、これは正常な動作となります。誤ってコマンドプロンプト（黒い画面）を閉じたりしないように注意してください。**

11. 「SQL Server 2014 セットアップ」が完了すると、続けて探検隊データベースの作成と設定が行われます。（設定作業も全て自動で行われます。そのままお待ちください）



12. 『探検隊のデータベース』のインストールが完了すると、コマンドプロンプト（黒い画面）の最下部に「全ての作業が終了しました。続行するには何かキーを押してください…」とメッセージが表示されます。



13. 「全ての作業が終了しました。続行するには何かキーを押してください…」のメッセージを確認し、キーボードの「Enter」キーを1度だけ押してください。

14. コマンドプロンプト（黒い画面）が消えたら、『探検隊のデータベース』のインストールは完了です。

ファイアーウォールの設定手順

ファイアーウォールが設定されている場合、『探検隊のデータベース』を利用できるようにファイアーウォールを構成する必要があります。

ファイアーウォールの設定が適切に行われていない場合、『探検隊のデータベース』がインストールされているサーバー機以外のパソコンから、データベースに接続することができません。

ファイアーウォールの構成手順は、オペレーティングシステムごとに異なります。

オペレーティングシステムに合った手順を参考に作業を行ってください。

- Windows Server 2012 / 2012 R2 / 2016 での Windows ファイアーウォール設定 16 ページ
- Windows Server 以外のオペレーティングシステムについて 21 ページ

*** 本マニュアルで想定しているファイアーウォールは「Windows ファイアーウォール」のみとなります。他社のファイアーウォールをお使いの場合は、その製品のマニュアルなどを参考に同じような設定を行ってください。**

ファイアーウォールの例外設定

SQL Server および SQL Server Browser サービスのネットワークトラフィックが許可されるように、ファイアーウォールに例外を追加します。ファイアーウォールの例外に、次のプログラムを追加してください。

SQL Server サービス

C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL12.TANKENDB120\MSSQL\Binn\sqlservr.exe

SQL Server Browser サービス

- 64bit オペレーティングシステムの場合

C:\Program Files(x86)\Microsoft SQL Server\90\Shared\sqlbrowser.exe

- 32bit オペレーティングシステムの場合

C:\Program Files\Microsoft SQL Server\90\Shared\sqlbrowser.exe

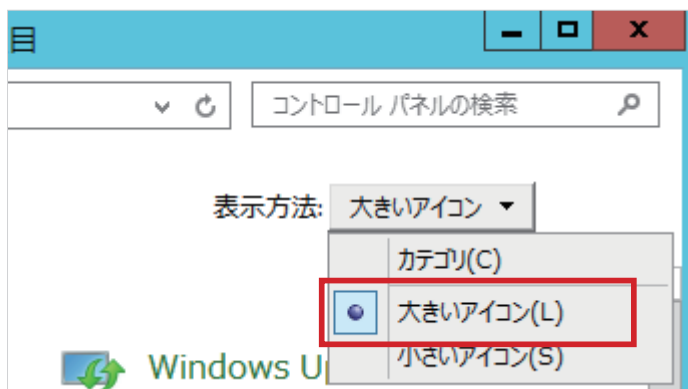
Windows Server 2012 / 2012 R2 / 2016 での Windows ファイアウォール設定

1. 「スタートメニュー>すべてのアプリ>コントロールパネル」を起動します。

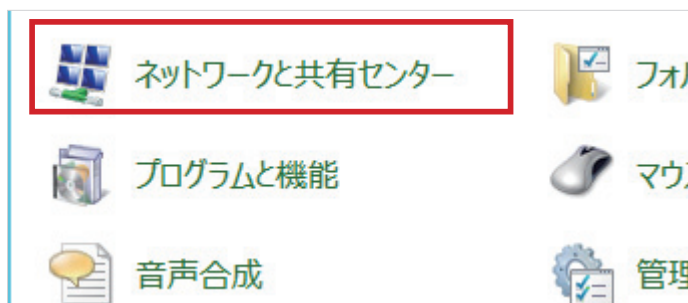
***Windows Server 2016 は、「スタートメニュー>コントロールパネル」で起動します。**



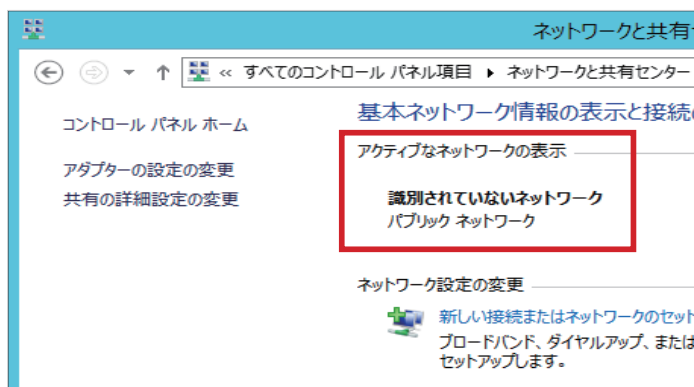
2. 右上の表示方法を「大きいアイコン」に変更します。



3. コントロールパネル内から「ネットワークと共有センター」をクリックします。

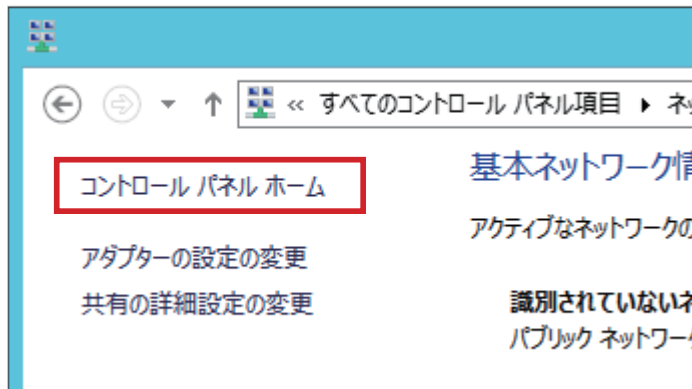


4. 利用しているネットワークプロファイルを確認します。通常「アクティブなネットワークの表示」に表示されている場所が有効なネットワークプロファイルになります。(例の場合：パブリックネットワーク)



*** ネットワークプロファイルは、お客様の環境ごとに異なります。**

5. 「コントロールパネルホーム」をクリックして、コントロールパネルに戻ります。



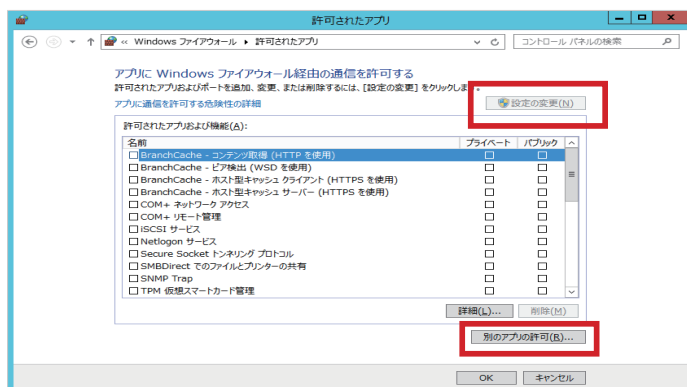
6. コントロールパネル内から「Windows ファイアウォール」をクリックします。



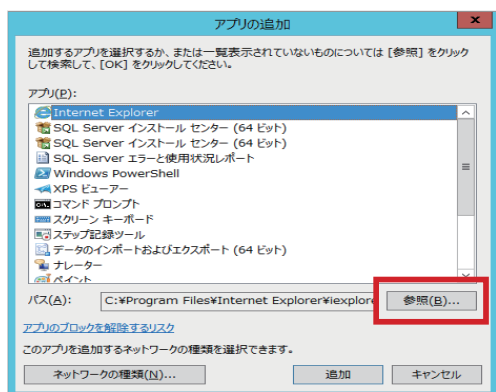
7. 「Windows ファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可する」をクリックします。



8. 許可されたアプリ画面が開きます。「別のアプリの許可」をクリックします。クリックできない場合は、右上の「設定の変更」をクリックしてから「別のアプリの許可」をクリックします。

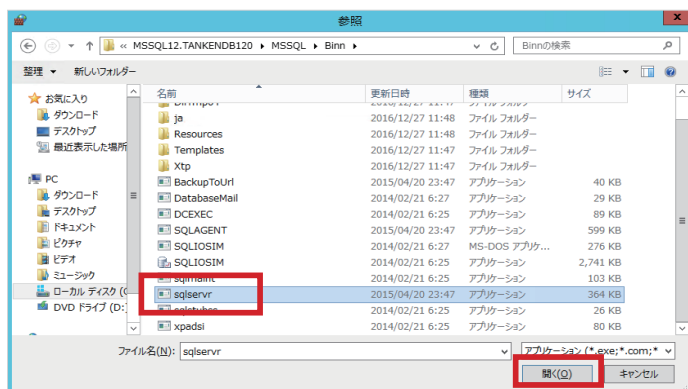


9. アプリの追加画面が開きます。「参照」をクリックします。

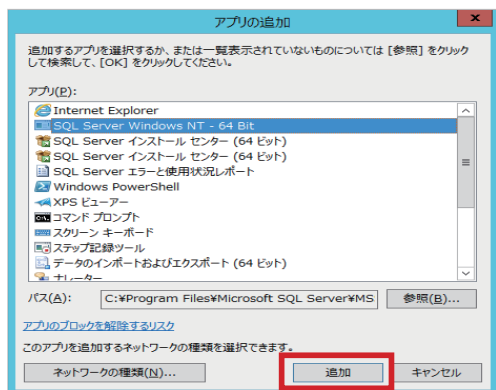


10. 参照画面が開きます。ファイルを選択し「開く」をクリックします。

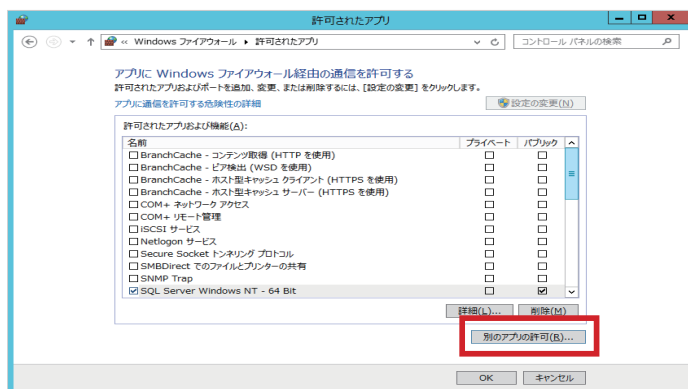
パス：C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL12.TANKENDB120\MSSQL\Binn\sqlservr.exe



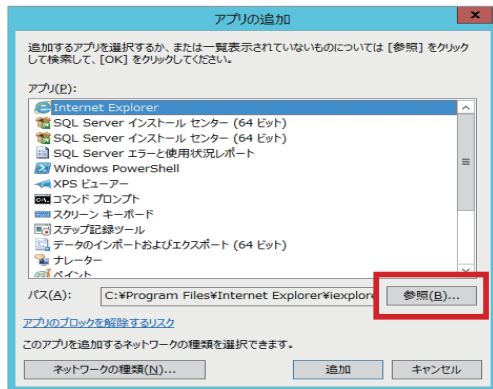
11. アプリの追加画面に戻るので「追加」をクリックします。



12. 許可されたアプリ画面に戻るので、もう一度「別のアプリの許可」をクリックします。

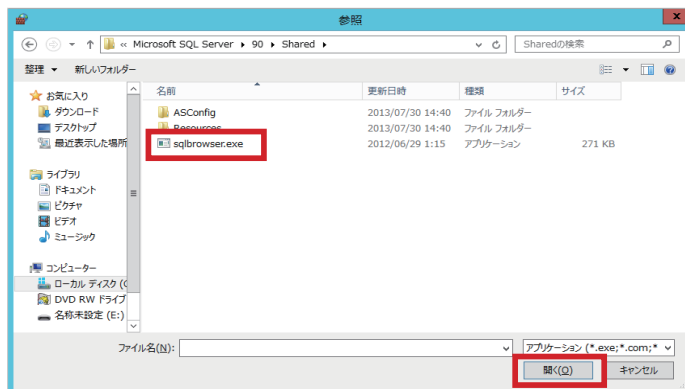


13. アプリの追加画面が開きます。「参照」をクリックします。

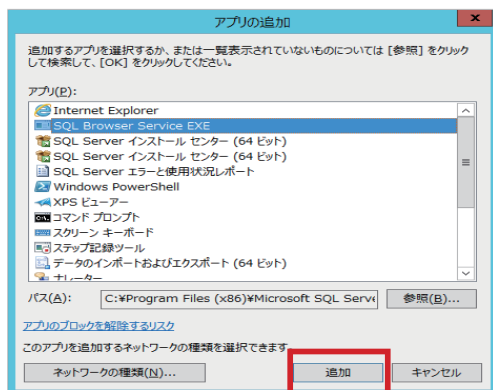


14. 参照画面が開きます。ファイルを選択し「開く」をクリックします。

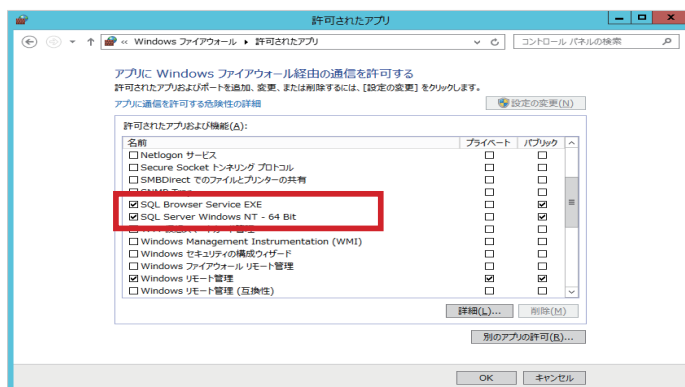
パス：C:\Program Files(x86)\Microsoft SQL Server\90\Shared\sqlbrowser.exe



15. アプリの追加画面に戻るので「追加」をクリックします。



16. 許可されたアプリ画面に、追加した2つのアプリがチェックのついた状態になっていることを確認します。

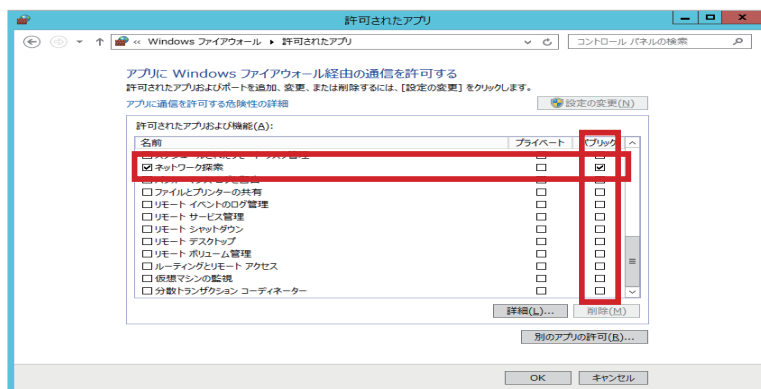


17. 追加した2つのアプリを、利用しているネットワークプロファイルで許可します。事前に確認したネットワークプロファイルに対して、チェックがついていることを確認します。ついていない場合は、チェックをつけます。

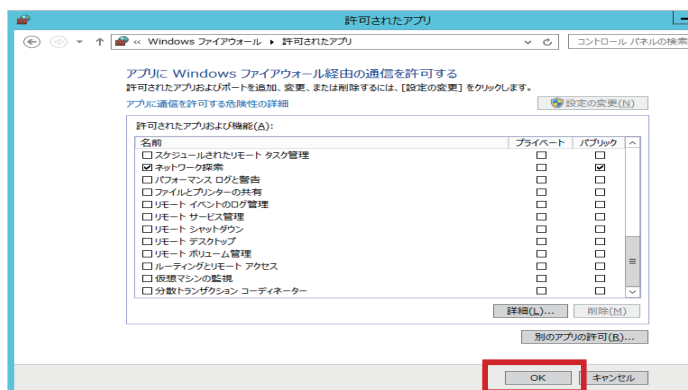


* ネットワークプロファイルはお客様ごとに異なります。必ずご利用の環境にあった内容で設定してください。

18. 続けて「許可されたアプリおよび機能」内にある「ネットワーク探索」に対して、同じように利用しているネットワークプロファイルに対して、チェックをつけて許可します。



19. 必要な設定はこれで完了になります。「OK」をクリックします。



Windows Server 以外のオペレーティングシステムについて

Windows Server 以外のオペレーティングをご利用の場合、スタンドアロン（1 台のみ）での運用となります。
スタンドアロン構成の場合は、「Windows ファイアウォール」の設定は必要ありません。

『探検隊のデータベース』のアンインストール手順

Microsoft SQL Server 2014 のアンインストールを行うまえに

*『探検隊のデータベース』（Microsoft SQL Server）の再インストール目的のアンインストールはお勧めしておりません。アンインストール後、再インストールが正常にできない場合はシステムの再セットアップが必要になる場合があります。

*『探検隊のデータベース』のアンインストールをすると、蔵書や利用者、統計などのデータが、全て消去されます。アンインストールを行う前に必ず最新の探検隊のバックアップを取得して下さい。

*『探検隊のデータベース』は Microsoft SQL Server 2014 を使用しており、『探検隊のデータベース』を削除することは Microsoft SQL Server 2014 をアンインストールすることになります。『探検隊』以外で Microsoft SQL Server 2014 や Microsoft SQL Server シリーズを使用しているアプリケーションが存在していると、そのアプリケーションに影響を与えてしまうことがあります。『探検隊のデータベース』をアンインストールする時は、必ず『探検隊』以外で Microsoft SQL Server 2014 を使用しているアプリケーションがないか確認してください。

Microsoft SQL Server 2014 のアンインストール

- 1.『探検隊バージョン 10.1』のアプリケーションがこのコンピュータや別のコンピュータで起動されていない事を確認してください。起動している場合は、終了してください。
- 2.アンインストールを始めるために、コンピュータの管理者権限でログオンします。
3. [スタート] ボタンをクリックして [すべてのプログラム] > [Microsoft SQL Server 2014] > [構成ツール] > [SQL Server 構成マネージャ] を右クリックして「管理者として実行 (A)」を選択します。
- 4.「SQL Server Configuration Manager」の画面が起動したら [SQL Server のサービス] を選択します。
- 5.「SQL Server(TANKENDB120)」の項目を右クリックして [停止] を選択します。
- 6.「SQL Server(TANKENDB120)」が停止後に「SQL Server Configuration Manager」の画面を閉じます。
- 7.コントロールパネルから「プログラムの追加と削除」や「プログラムのアンインストール」を実行します。
- 8.「Microsoft SQL Server 2014」を選択して、「削除」または「アンインストール」をクリックします。ユーザーアカウント制御が表示された場合は「はい」を応答します。
- 9.選択画面が表示されるので [削除] をクリックします。SQL Server インストール ウィザードが起動します。
- 10.セットアップ サポート ルールが実行され、コンピューターの構成が確認されます。
- 11.「インスタンスの選択」ページに移行したら、ドロップダウン ボックスを使用して削除する SQL Server インスタンス「TANKENDB120」を指定し「次へ」をクリックします。
- 12.「機能の選択」ページで指定した SQL Server インスタンスに対し「すべて選択」をクリックするか個別でチェックを行い、すべてのチェックボックスにチェックが入った事を確認後に「次へ」をクリックします。
- 13.削除ルールが実行され「操作が完了しました」の表示後「次へ」をクリックします。
- 14.「削除の準備完了」画面で画面下部の「削除」をクリックします。
- 15.「削除の進行状況」ページに、セットアップの進行状況が表示されます。
- 16.「完了」ページの「[閉じる]」をクリックして、インストール ウィザードを終了します。
- 17.「プログラムのアンインストール」(OSによっては「プログラムの追加と削除」)を閉じます。
- 18.改めて「プログラムのアンインストール」(OSによっては「プログラムの追加と削除」)を開きます。
- 19.一部残っている SQL Server 2014 コンポーネントの削除を繰り返し、すべて削除後に PC を再起動します。
- 20.「探検隊データベース」関連フォルダ C:\Program Files\Microsoft SQL Server) を削除します。

『探検隊のデータベース』の再インストール手順

『探検隊のデータベース』（Microsoft SQL Server 2014）の再インストール目的のアンインストールは、お勧めしていません。特別な事情により再インストールが必要になった場合は探検隊サポートセンターにご相談ください。

* Microsoft SQL Server 2014 の再セットアップが正常に出来ない場合は、サポートセンターではオペレーティングシステムの再セットアップをお願いする場合があります。予めご了承ください。

『探検隊データベース管理版』のインストール手順

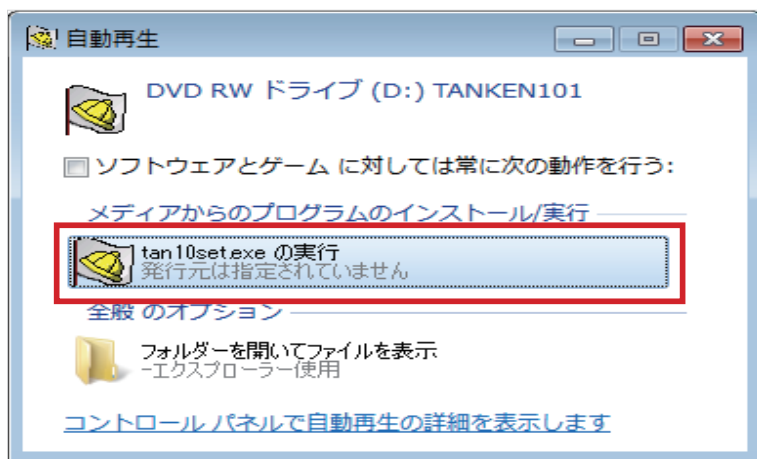
『探検隊のデータベース』のインストールが正常に完了すると、『探検隊データベース管理版』のインストールを行えるようになります。

オペレーティングシステムによって、画面の見た目が異なる場合がありますが、インストール手順の流れは、共通です。

***『探検隊データベース管理版』は、『探検隊のデータベース』が入っている端末にのみインストールが行えます。**

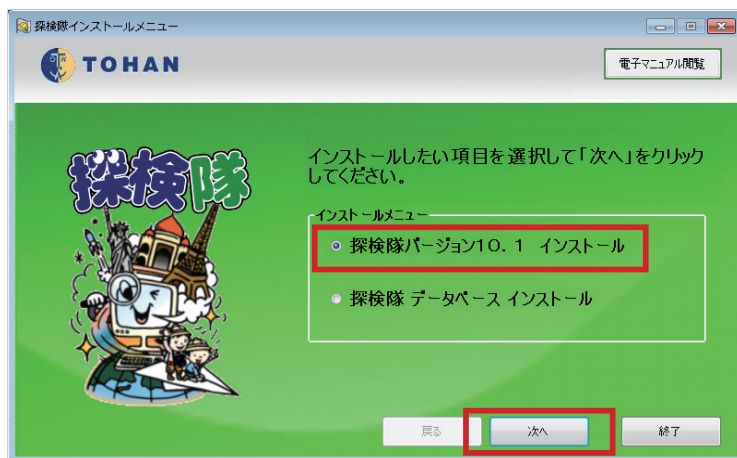
『探検隊バージョン 10.1（データベース管理版）』をインストールする

- 1.『探検隊バージョン 10.1（データベース管理版）』のインストールを始めるために、コンピュータの管理者権限でログオンします。
- 2.『探検隊バージョン 10.1』インストールメディア・イメージファイルを、ドライブにセットしてください。
- 3.自動再生メニューが表示されます。「tan10set.exe の実行」をクリックしてください。



自動再生されない場合は、「コンピューター（マイコンピュータ）」から、ドライブをダブルクリックするか、直接ドライブを開いて、「tan10set.exe」をダブルクリックしてください。

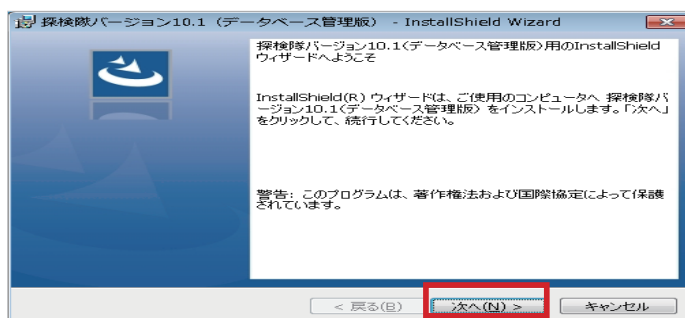
4. インストールメニューから「探検隊バージョン 10.1 インストール」を選択し「次へ」ボタンをクリックします。



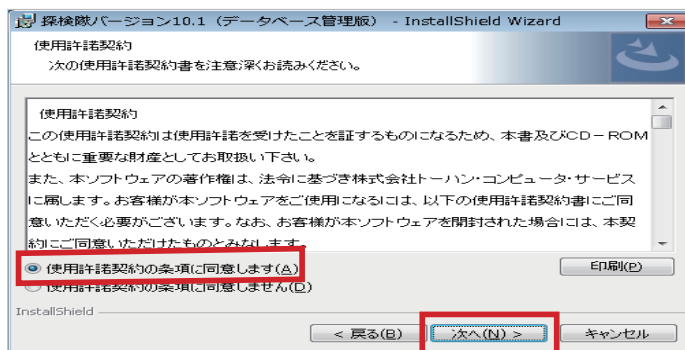
- 5.「探検隊データベース管理版 インストール」をクリックします。



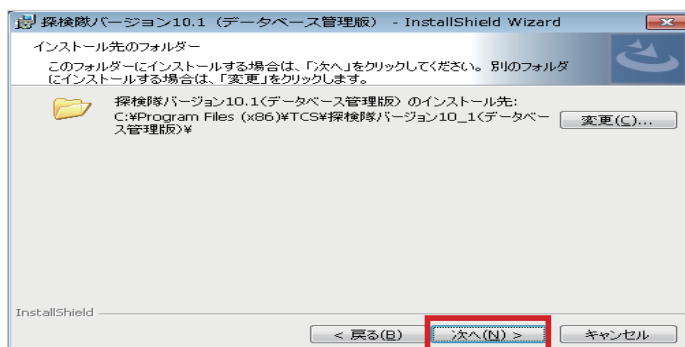
- 6.『探検隊バージョン 10.1（データベース管理版）』セットアップウィザードが起動します。「次へ」をクリックします。



7. ライセンス条項をよく読み「同意する」にチェックを入れて、「次へ」をクリックします。

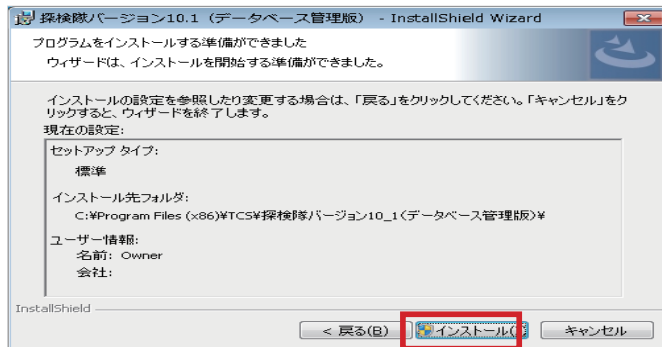


8. インストールフォルダを選択して「次へ」をクリックします。通常は指定の変更は必要ありません。

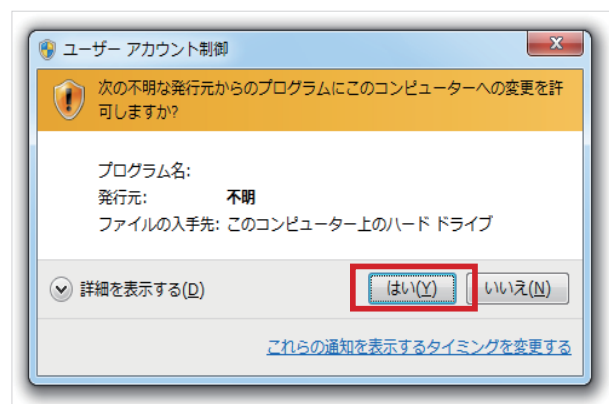
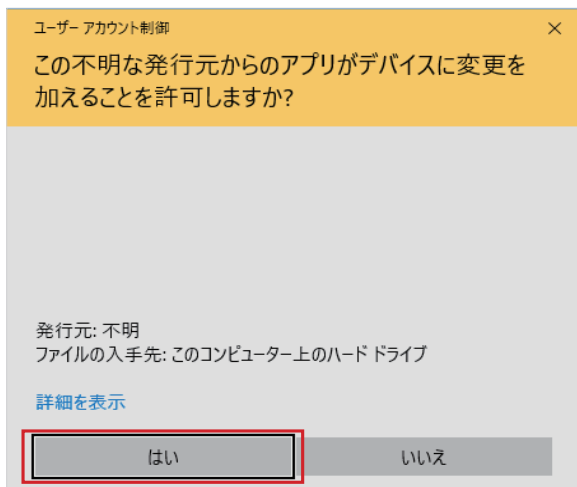


64bitOS のインストールフォルダ：C:\Program Files(x86)\TCS\ 探検隊バージョン 10_1（データベース管理版）
 32bitOS のインストールフォルダ：C:\Program Files\TCS\ 探検隊バージョン 10_1（データベース管理版）

9. 「インストールの確認」画面で「インストール」をクリックします。



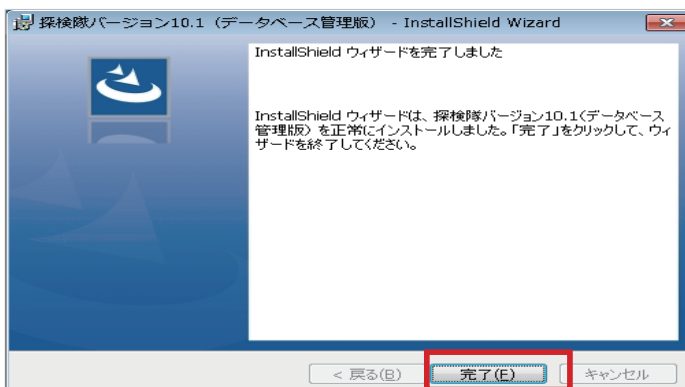
10. ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、「許可」または「はい」をクリックします。



* ユーザーアカウント制御画面は、オペレーティングシステムの設定により、表示されないこともあります。その場合は、次の項目へ進んでください。

11. インストール作業が完了するまでお待ちください。

12. 「インストールが完了しました。」画面が表示されれば終了です。「完了」をクリックします。



『探検隊データベース管理版』のアンインストール手順

『探検隊バージョン 10.1（データベース管理版）』をバージョンアップする、またはご利用を止めたいなどの場合、アンインストールを行ってください。

『探検隊バージョン 10.1（データベース管理版）』のアンインストールは、オペレーティングシステムごとに操作方法が異なります。オペレーティングシステムに合った手順を参考に作業を行ってください。

***『探検隊バージョン 10.1（データベース管理版）』のアンインストールを行っても、蔵書や利用者、統計などのデータが消去される事はありません。**

1. アンインストールを行う為に、コンピュータの管理者権限でログオンします。
2. コントロールパネルから「プログラムのアンインストール」を選択します。
3. 『探検隊バージョン 10.1（データベース管理版）』を選択し、「アンインストール」をクリックします。
4. 確認画面が表示されます。「はい」をクリックします。
5. ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、「許可」または「はい」をクリックします。
6. アンインストール処理が実行され『探検隊バージョン 10.1（データベース管理版）』がアンインストールされます。

『探検隊データベース管理版』の再インストール手順

なんらかの理由により『探検隊バージョン 10.1（データベース管理版）』のアプリケーションを入れ直したい場合、再インストールを行います。

***『探検隊バージョン 10.1（データベース管理版）』の再インストールをしても、蔵書や利用者、統計などのデータが、消去される事はありません。**

***最新の修正版にバージョンアップするための再インストールについては、このマニュアルではなく「バージョンアップマニュアル」の方を参考に作業を行ってください。**

1. 再インストールを行う為に、コンピュータの管理者権限でログオンします。
2. 『探検隊バージョン 10.1（データベース管理版）』を終了します。
3. 本資料『『探検隊データベース管理版』のアンインストール手順』を参考に、アンインストールします。
4. 本資料『『探検隊データベース管理版』のインストール手順』を参考に、インストールします。
 - 4-1. インストールメニューから「探検隊バージョン 10.1 インストール」を選択し「次へ」をクリックします。
 - 4-2. 「探検隊データベース管理版」をクリックします。
 - 4-3. 画面の指示に従って、インストールを行ってください。
5. インストール完了後、データベース管理版を起動してください。

起動時にデータベースの定義の更新要求のメッセージが表示された場合は、バージョンアップマニュアルを参考にデータベースの更新を行ってください。

トラブルシューティング

「お使いのパソコンは、探検隊のセットアップ要件を満たしていません。インストールマニュアルを参考に、対応 OS であるか確認してください。」メッセージが表示されてしまう

原因：探検隊バージョン 10.1 に対応していない OS、もしくは対応したサービスパックが入っていません。

解決法：本マニュアルのシステム要件を確認して、セットアップ要件を満たしてからインストールしてください。

インストール時に、ユーザーアカウントとパスワードを求められてしまう

原因：Windows にログオンしているユーザーに、コンピュータの管理者権限がありません。

解決法：コンピュータの管理者権限をもったアカウントで、探検隊のインストールをしてください。

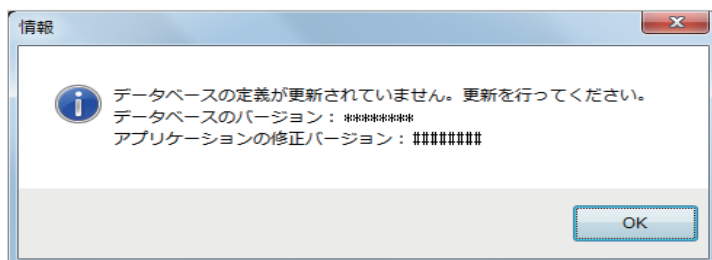
インストールメニューの『探検隊データベースインストール』が選択できない

原因：インストールに必要な条件を満たしていません。

解決法 1：表示された赤字の内容を参考に、本資料「事前に必要なソフトウェアのインストール手順」を行ってください。

解決法 2：「コンピュータ名とユーザー名が同一の環境では、探検隊のデータベースをインストールできません。」と表示されている場合は、ご利用のコンピュータ名もしくは、ログオン中の Windows ユーザーアカウントを別のものに切り替えてから、再度インストール作業を実施してください。

再インストール後、「データベースの定義が更新されていません。更新を行ってください。」と表示されてしまう



原因：バージョンアップ作業を全て完了していない可能性があります。

解決法：バージョンアップマニュアルを参考に、データベース更新に関する作業を行ってください。

再インストール後、「このデータベース管理版は最新ではありません。最新のアプリケーションに再インストールしてください。」と表示されてしまう

